



第1講 11月28日(土)
竜王山(鏡山)の城と寺
 講師 福永清治氏
(野洲市教育委員会文化財保護課長)



城と寺が語る
 山の信仰

2026

りゅうおう歴史文化講座

12月19日(土)

第2講 考古学でさぐる近江の木材利用

講師 村上由美子氏 (京都大学総合博物館教授)
むらかみ ゆみこ

主催：竜王町教育委員会

人と森
 との関わり

竜王町の歴史ロマンをもっと身近に



開催場所 竜王町公民館 2階研修室
(滋賀県蒲生郡竜王町大字小口276番地1)

開催時間 13:30～ 15:30

受講料 各回 500 円 (当日ご持参ください)

定員 各回 70 名 (定員になり次第締め切り)

申込方法 電話(平日のみ)・FAXメールにて
 氏名(ふりがな)・住所・連絡先(電話番号)
 参加希望回をお知らせください

令和8年度

りゅうおう歴史文化講座

●問い合わせ・申し込み先

竜王町教育委員会事務局生涯学習課

TEL:0748-58-3711

FAX:0748-58-2655

メール:syogaku@town.ryuoh.shiga.jp

第1講 11月28日(土)



鏡氏の居城と伝わる星ヶ崎城跡

「竜王山（鏡山）の城と寺」

福永清治氏

野洲市教育委員会文化財保護課長

竜王町の名の由来は、東の雪野山とともに西の鏡山が「竜王山」と呼ばれていたことによります。

一般的には雨・水をもたらす八大龍王が宿る山として、古来地域の信仰の対象となってきました。竜王町の西の竜王山である鏡山にも、山頂から山麓までの間には山の信仰に関する数多くの遺跡が存在します。

講座では、鏡山を中心とする竜王町・野洲市双方の山城や山寺の遺跡を紹介します。
(福永)

第2講 12月19日(土)



多くの木製品が出土したブタイ遺跡（山面）

「考古学でさぐる近江の木材利用」

村上由美子氏

京都大学総合博物館教授

竜王町ブタイ遺跡や東近江市蛭子田遺跡では、古墳時代から古代にかけての木製品が数多く出土しています。集落で使われた木の道具は、当時の暮らしぶりを具体的に伝えてくれます。

また、木製品の樹種を調べてみると、主にスギ・ヒノキ・カシの仲間などが使われており、当時の人々と森との関わりを読み取ることができます。琵琶湖周辺の樹種データとも比較しながら、地域の木材利用の特徴を探ってみましょう。
(村上)

令和8年度

りゅうおう歴史文化講座

開催場所 竜王町公民館 2階研修室

(滋賀県蒲生郡竜王町大字小口276番地1)

●最寄りの交通機関

JR近江八幡駅(北口)から
近江鉄道バス「岡屋線」
「竜王町タウンセンター」バス停下車すぐ
近江鉄道バス「八幡アウトレット線」
「竜王町総合庁舎北口」バス停下車
徒歩約10分

